

2009年3月期
第2四半期決算説明会

2008年 11月 20日



日本軽金属株式会社

目次

1. 2009年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と見通し
3. 2009年3月期 通期連結業績予想

本資料における業績予想および将来の予想等に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想と異なる場合がありますことをご承知おきください。

目次

1. 2009年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と見通し
3. 2009年3月期 通期連結業績予想

連結決算実績

(億円)

	08/4-9 実績	07/4-9 実績	前年同期比	08/4-9 期初予想	期初予想比
売上高	3,074	3,166	△92 (△2.9%)	3,150	△76 (△2.4%)
営業利益	54	101	△47 (△46.3%)	65	△11 (△16.8%)
経常利益	32	70	△38 (△54.9%)	25	+7 (+26.9%)
当期純損益	△6	36	△42 (-)	△15	+9 (-)

売上高・営業利益 — 前年同期比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	08/4-9 実績	07/4-9 実績	差異	08/4-9 実績	07/4-9 実績	差異
アルミナ・化成品、 地 金	765	781	△16 (△2.0%)	45	53	△8 (△14.5%)
板、押出製品	402	391	+11 (+2.9%)	12	20	△8 (△40.8%)
加工製品、 関連事業	1,267	1,245	+22 (+1.7%)	51	59	△8 (△14.3%)
建材製品	640	749	△109 (△14.5%)	△40	△17	△23 (-)
管理・共通	—	—	—	△14	△14	0
合 計	3,074	3,166	△92 (△2.9%)	54	101	△47 (△46.3%)

売上高・営業利益 — 期初予想比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	08/4-9 実績	08/4-9 期初予想	差異	08/4-9 実績	08/4-9 期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	765	770	△5 (△0.6%)	45	50	△5 (△9.4%)
板、押出製品	402	420	△18 (△4.3%)	12	10	+2 (+16.4%)
加工製品、 関連事業	1,267	1,270	△3 (△0.3%)	51	50	+1 (+1.0%)
建材製品	640	690	△50 (△7.2%)	△40	△30	△10 (-)
管理・共通	—	—	—	△14	△15	+1
合 計	3,074	3,150	△76 (△2.4%)	54	65	△11 (△16.8%)

経常利益

(億円)

	08/4-9 実績	07/4-9 実績	前年同期比	08/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	32	70	△38 (△54.9%)	25	+7 (+26.9%)

(億円)

前年同期比 △38億円 の内訳

営業利益の減少	△47
持分法損益の改善	+3
その他(資産売却益等)	+6

(億円)

期初予想比 +7億円 の内訳

営業利益の減少	△11
支払利息の減少	+3
持分法損益の改善	+1
その他 (固定資産、有価証券売却益等)	+14

当期損益

(億円)

	08/4-9 実績	07/4-9 実績	前年同期比	08/4-9 期初予想	期初予想比
当期損益	△6	36	△42 (-)	△15	+9 (-)

(億円)

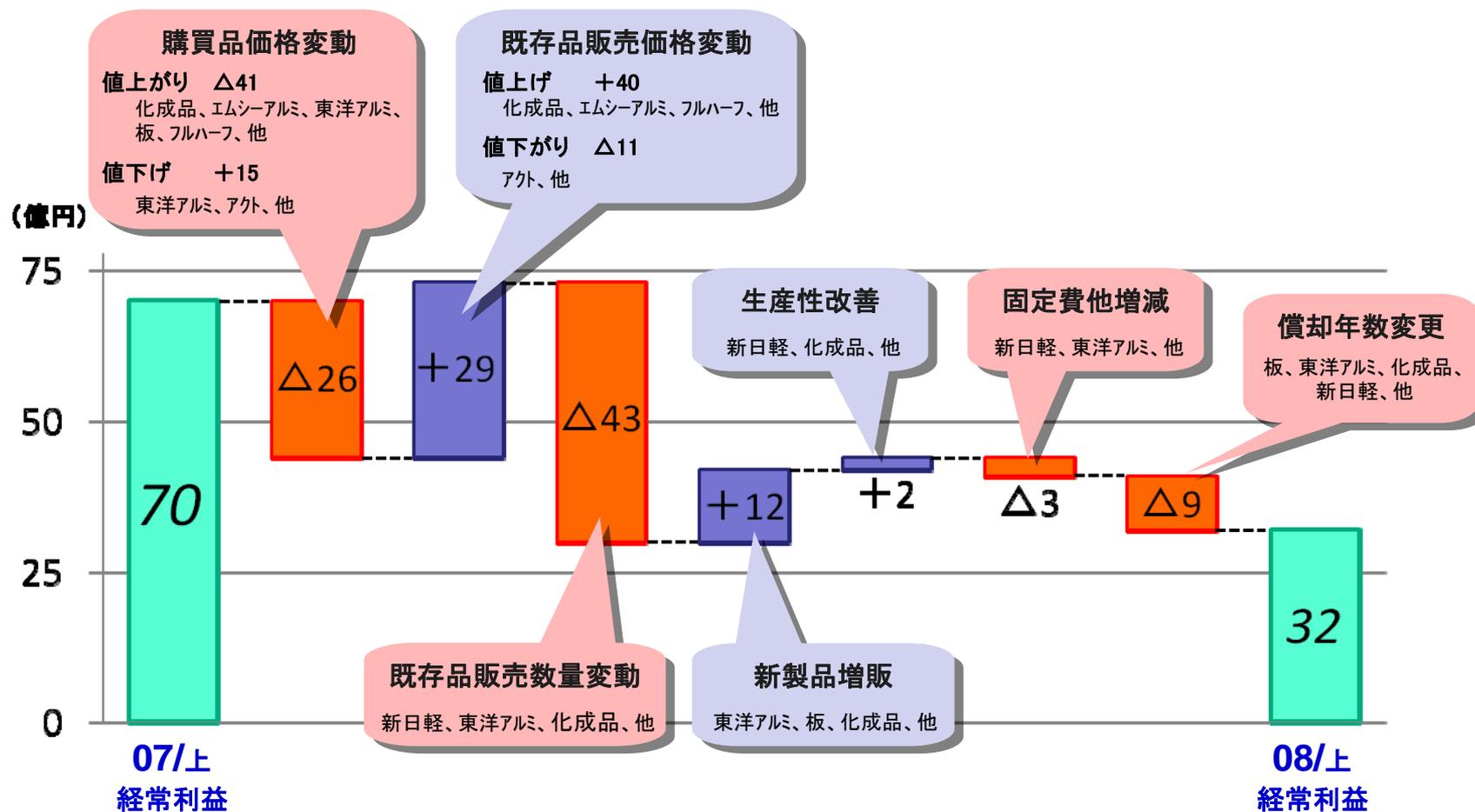
前年同期比 △42億円 の内訳	
経常利益の減少	△38
特別利益の減少	△14
税金費用の減少	+10

(億円)

期初予想比 +9億円 の内訳	
経常利益の増加	+7
税金費用の減少	+2

経常利益変化要因

07年度上期 70億円 ⇒ 08年度第2四半期 32億円 Δ 38億円



キャッシュ・フロー計算書の概要

2008年度 第2四半期

<源泉>		<使途>	
営業活動による キャッシュ・フロー 73億円		投資活動による キャッシュ・フロー 103億 円	
税引前四半期純利益	32	有形固定資産の取得	113
減価償却費	104	その他	△10
新日軽退職金支払	△38		
法人税等支払	△14		
その他	△11		
現金・同等物の減少 36億円		配当金支払額 19億円	
社債・借入金の増加等 13億円			

2007年度 上期

<源泉>

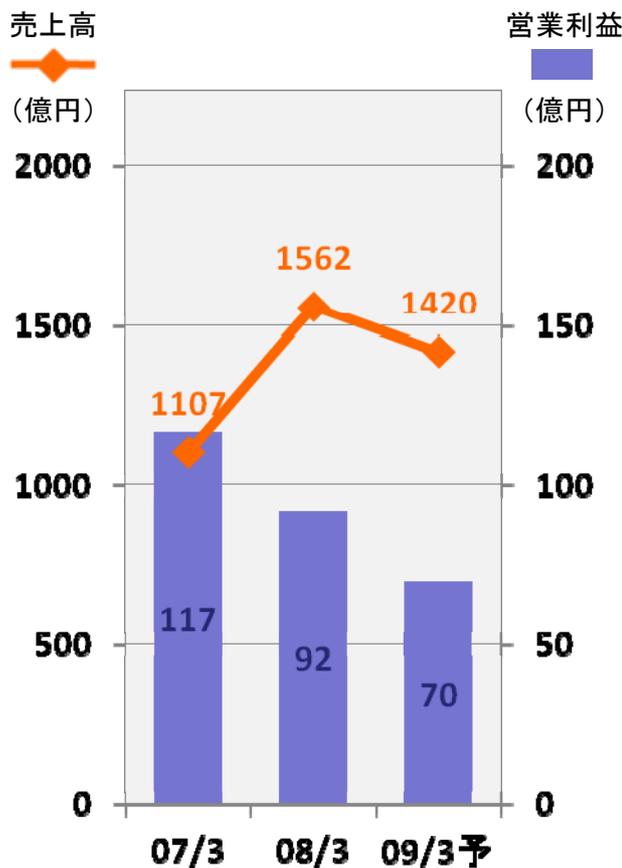
<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー 92億円		投資活動による キャッシュ・フロー 104億 円	
税引前中間純利益	85	有形固定資産の取得	103
減価償却費	95	その他	1
法人税等支払	△80		
その他	△8		
現金・同等物の減少 36億円		配当金支払額 29億円	
社債・借入金の増加等 5億円			

目次

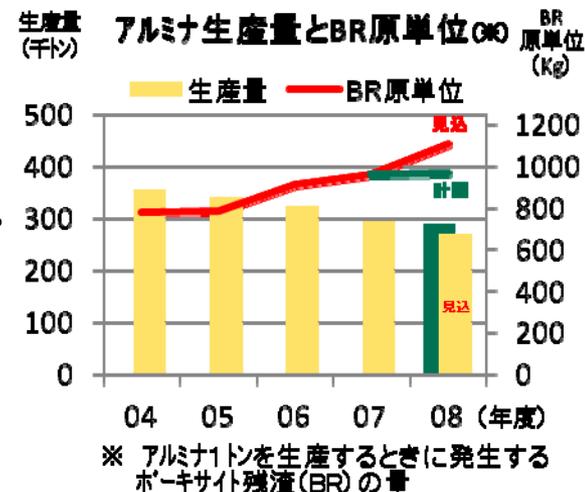
1. 2009年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
- 2. 主要ユニットの事業環境と見通し**
3. 2009年3月期 通期連結業績予想

アルミナ・化成品、地金セグメント



アルミナ・化成品

- FPD向けのアルミナや塩酸等の化学品の出荷に陰り。
- ウオン安により韓国向輸出急減。
- 08年10月期に追加値上げ(10~15%)を発表。
 - ・アルミナ、水酸化アルミナ
 - ・苛性ソーダ、硫酸バンド、ポリ塩化アルミニウム



日軽エムシーアルミ

- 下期自動車生産は、景気減速により減少。
- ダイカストメーカーは4Qに向け在庫調整。3Qの合金需要が急減。
- ダイカスト向け輸入塊シェア急増(30%⇒40%)。
- 販売価格はユーザー各社の買い控えにより急落。

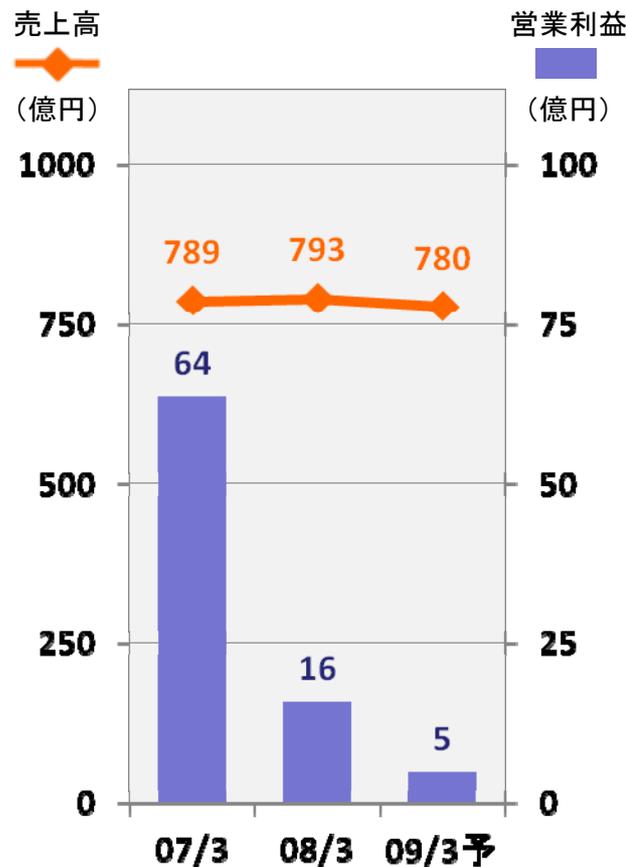
2008年度上期販売量 (千トン)

	2008年度上期		差異
	実績	年初計画	
国内	92.8	103.8	△11.0
海外	47.4	52.2	△4.8
合計	140.2	156.0	△15.8

板、押出製品セグメント

板

- 上期比較的好調であったコンデンサー向け箔地、厚板、PC筐体材が減少。
- Liイオン電池ケース材は堅調を維持。
- 4Qからの価格低下を見越した買い控えが始まっている。



2008年度販売量

2008年度見込			年初計画			年度差異
上期実績	下期見込	年度計	上期	下期	年度計	
45.8	43.7	89.5	48.0	49.1	97.1	△7.6

日軽金アクト

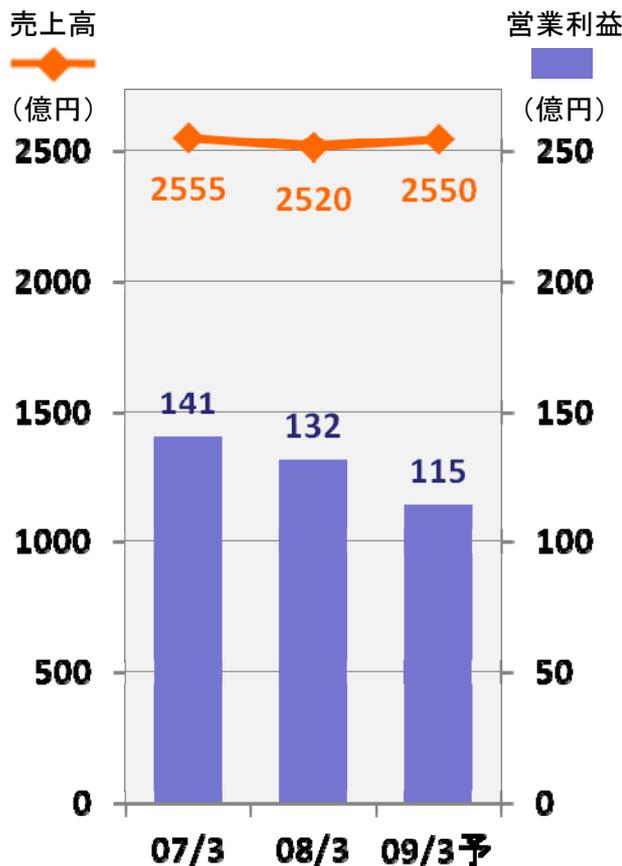
- 輸送分野： 鉄道車両向けの好調が続く。トラック向けは減少。
- 自動車分野： 自動車メーカー減産の影響を大きく受ける。中国においても影響が出始めている。
- 電機・電子分野： 設備投資の延期・中止により産業機械向けや感光ドラムが減少。 データセンター向け二重床は計画通りの進捗。

2008年度販売量

2008年度見込			年初計画			年度差異
上期実績	下期見込	年度計	上期	下期	年度計	
24.3	21.9	46.2	25.7	26.4	52.1	△5.9

加工製品、関連事業セグメント

東洋アルミニウム



<箔>

- 食料品向け加工箔の低迷が続き、コンデンサー箔も減少の見込み。
- 太陽電池用バックシート的大幅増加を見込む。

<粉末製品>

- 自動車分野、家電分野でペーストの伸び悩みが続く。
新色シリーズ、水性ペーストの展開に注力。
- 太陽電池用機能性インキが堅調。

日本フルハーフ

■ トラック需要(千台/年)

	06	07	08予
普トラ	105	85	68
小型	121	90	79

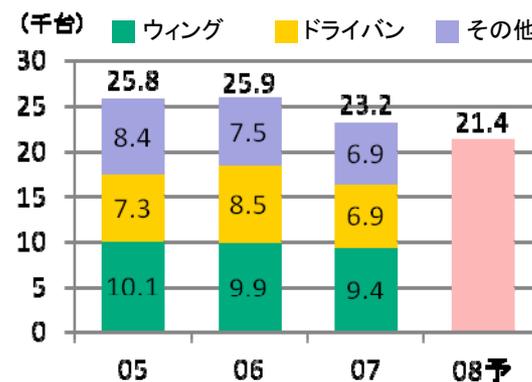
■ 需要減対策

- ・ 徹底的な標準化推進
- ・ サービス体制の強化

■ 追加施策・・・期間工削減

■ 海外事業検討

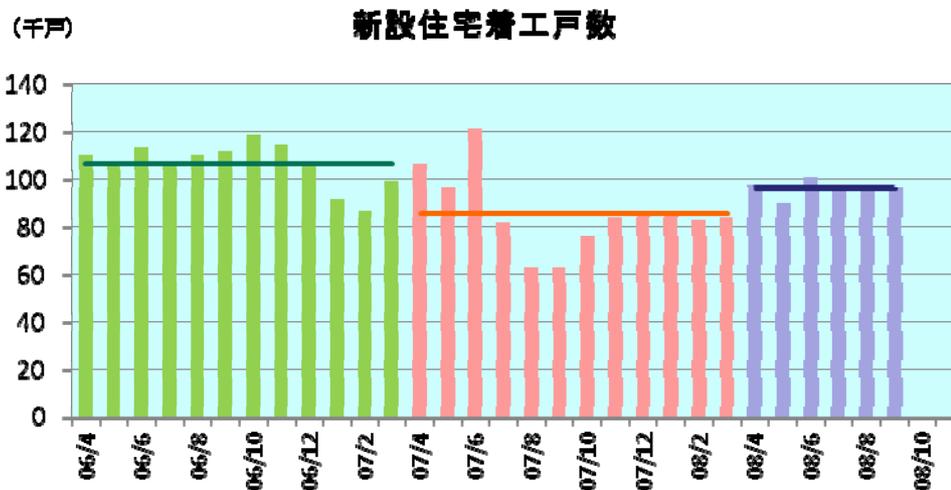
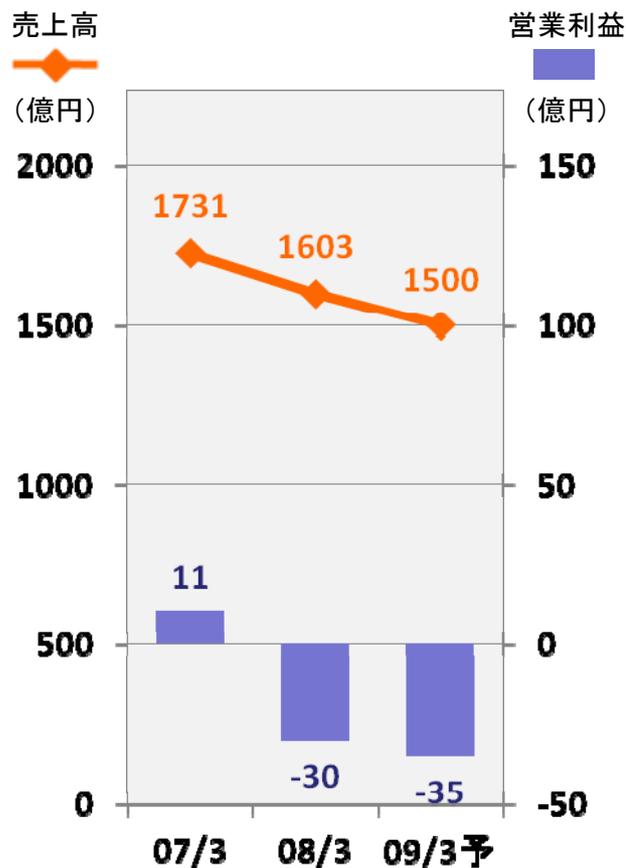
フルハーフ販売台数



建材製品セグメント

新日軽

- 住宅購入マインドの冷え込み、企業設備投資の抑制など、住宅市場、ビル市場ともに低調に推移すると見込まれる。



通期業績予想

	今回予想	期初計画	差異	07年度	差異
売上高	1,480	1,570	△90	1,583	△103
営業利益	△35	0	△35	△37	+2

主要会社の業績予想

(億円)

	2008年度予想(11/14)				2007年度実績			
	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
日本軽金属	1,850	10	35	35	2,029	44	80	△70
新日軽 (連結)	1,480	△35	△53	△58	1,583	△37	△68	△219
東洋アルミニウム (連結)	1,096	65	60	38	922	68	60	37
日軽エムシーアルミ (連結)	715	7	5	2	854	14	13	7
日本フルーフ (連結)	529	7	5	2	567	11	8	4
日軽金ア外	386	8	11	6	383	6	8	5

目次

1. 2009年3月期 第2四半期連結累計期間
決算の概要
2. 主要ユニットの事業環境と見通し
3. 2009年3月期 通期連結業績予想

通期業績予想

(億円)

	09年3月期 今回予想 (a)	09年3月期 期初予想 (b)	差異 (a-b)	08年3月期 実績 (c)	差異 (a-c)
売上高	6,250	6,600	△350 (△5.3%)	6,478	△228 (△3.5%)
営業利益	125	215	△90 (△41.9%)	180	△55 (△30.5%)
経常利益	75	145	△70 (△48.3%)	112	△37 (△33.2%)
当期純損益	20	65	△45 (△69.2%)	△103	+123 (-)

売上高・営業利益 一 期初予想比較

(億円)

	売上高			営業利益		
	今回予想	期初予想	差異	今回予想	期初予想	差異
アルミナ・化成品、 地 金	1,420	1,560	△140 (△9.0%)	70	90	△20 (△22.2%)
板、押出製品	780	860	△80 (△9.3%)	5	30	△25 (△83.3%)
加工製品、 関連事業	2,550	2,590	△40 (△1.5%)	115	120	△5 (△4.2%)
建材製品	1,500	1,590	△90 (△5.7%)	△35	5	△40 (-)
管理・共通	—	—	—	△30	△30	0
合 計	6,250	6,600	△350 (△5.3%)	125	215	△90 (△41.9%)

経常利益

(億円)

	09年3月期 今回予想 (a)	09年3月期 期初予想 (b)	差異 (a-b)	08年3月期 実績 (c)	差異 (a-c)
経常利益	75	145	△70 (△48.3%)	112	△37 (△33.0%)

(億円)

期初予想比 △70億円 の内訳	
営業利益の減少	△90
支払利息の減少	+10
その他 (配当、固定資産処分益等)	+10

(億円)

前期比 △37億円 の内訳	
営業利益の減少	△55
その他 (為替差損、固定資産処分損益等)	+18

当期損益

(億円)

	09年3月期 今回予想 (a)	09年3月期 期初予想 (b)	差異 (a-b)	08年3月期 実績 (c)	差異 (a-c)
当期純損益	20	65	△45 (△69.2%)	△103	+123 (-)

(億円)

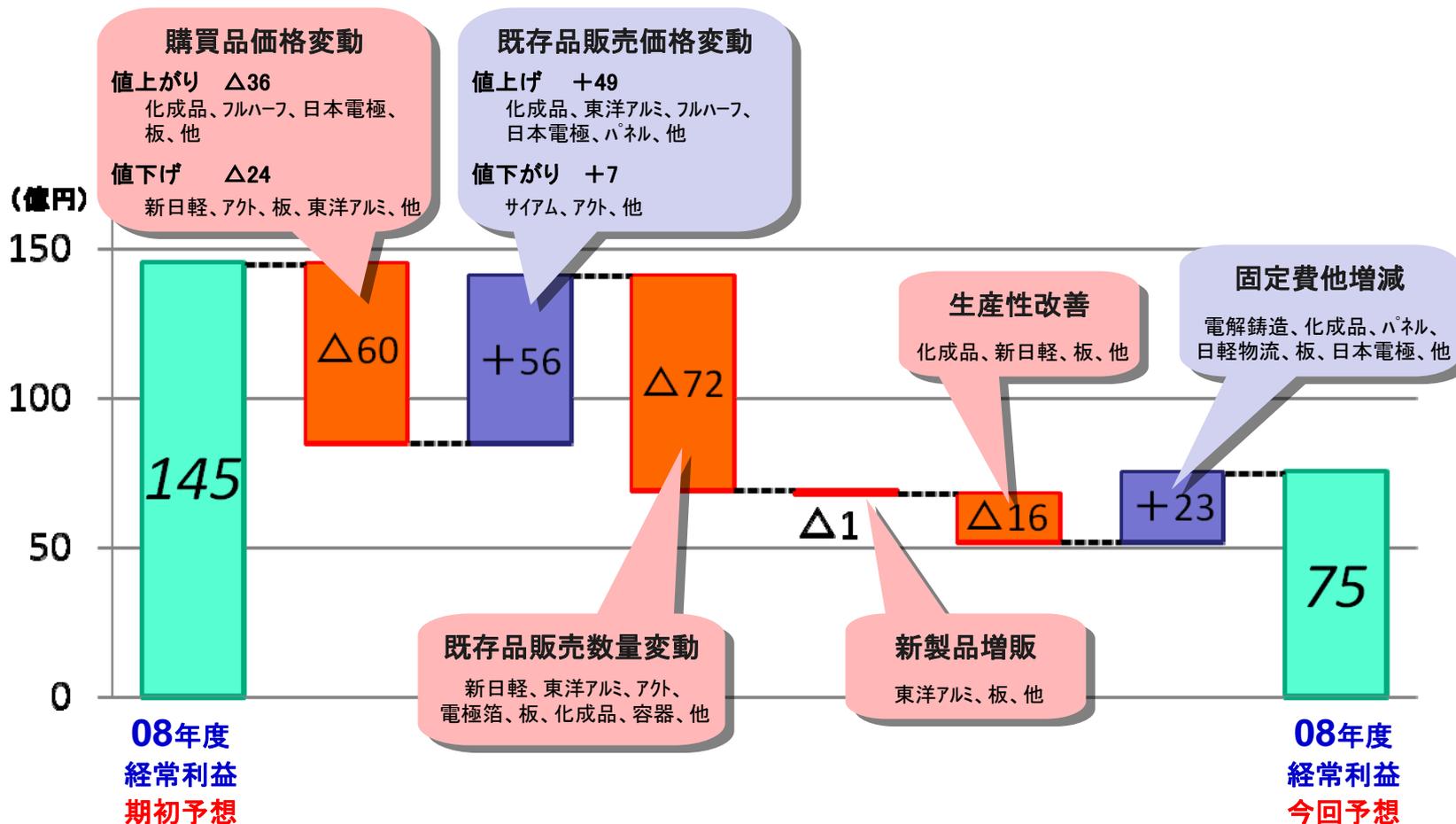
期初予想比 △45億円 の内訳	
経常利益の減少	△70
税金費用の減少	+16
少数株主利益の減少	+5
その他	+4

(億円)

前期比 +123億円 の内訳	
経常利益の減少	△37
特別損益の増減	+142
税金費用の減少	+15
少数株主利益の減少	+3

経常利益変化要因

08年度 期初予想 145億円 ⇒ 今回予想 75億円 Δ70億円



設備投資

設備投資

(億円)

	2008年度見込			期初計画			年度差異
	上期実績	下期見込	年度計	上期	下期	年度計	
アルミナ・化成品、地金	23	35	58	32	45	77	△19
板、押出製品	29	22	51	31	31	62	△11
加工製品、関連事業	58	74	132	64	66	130	+2
建材製品	18	16	34	29	23	52	△18
合計	128	147	275	156	165	321	△46

下期の主な設備投資

アルミナ・化成品、地金	エムシーアルミ・幸田工場：リジエネバーナー導入 化成品・清水工場：原料水酸化アルミ倉庫
板、押出製品	ニッケイサイアム：冷間圧延機改造、スリッター導入
加工製品、関連事業	東洋アルミ・肇慶：太陽電池用バックシート製造ライン 日本電極：黒鉛化炉



アルミにこだわり
アルミを超えていく